谷川岳　土合駅～土樽駅（岩場見物～谷川岳～肩ノ小屋～万太郎山 縦走コース）2日目 土合山ノ家～厳剛新道～肩ノ小屋、3日目肩ノ小屋～万太郎山～土樽駅

7/24 14:45 駅前につく
（途中10分マイカーに便乗する）

マイカー 14:35 乗車する
クワ沢 13:58~14:20

至つちたる

吾策新道

下山

戻って 11:05~11:23 休憩後下山

ぶどう果物ジュース

10:02~10:42 昼食と

万太郎山 1954.1

至仙ノ倉・平標山

10:45~11:03 休憩

もう直ぐ頑張れ休み点

小屋より 5.5km 9:15

小屋より 4.5km 9:33~9:41

7ツ野 9:23

4.4km 9:45

急下り

大障子ノ頭 約1750

三ツコウキスゲの多い斜面

最後ジグザグ急登

他に2パーテー休憩していたので行先を尊ねたり山の話などする

◎暑くてくたまらなり、平標山は逃が彼方、水もないので土樽へ下山することにする。

カンカン照りの細い尾根道を行く。

ゆるい登り、谷川岳もずっと遠くになってしまった……

両側相変らず笹の斜面が波打っている。最後の登り一寸登っては涼風を入れる

8:15~9:10 果物

大障子避難小屋 約1700

8:38 八人用

8:22 ヒル

大障子の頭へは相変らず熊笹の間の道で狭りが、高山植物が点々と咲いて楽しませてくれる

ウグイスの鳴声を聞きながらミカンの缶詰を食べる。気温二十九度暑い〜上天気。風速は北風2mのそよ風で新潟側の稜線歩きは良いが群馬側の斜面を行くときの暑いこと……

沢下り 25分

大休止している

小障子ノ頭 約1900

8:03~8:13

暑りで胸を拡げて涼風を入れて快感

小屋より 2.5km 7:45

7:15 最低ア湖 7:48 ヒル

急坂

両側は斜面一杯笹が茂っている

果しなく重ね曲りし縦走路

眺めて休む 側

万太郎山 県

（新 潟

北

南 側

（群馬県）

朝露の笹に濡れて下る

オジカ沢ノ頭 1808

7:11~7:32

四人用テン小屋 7:35

急坂をグンダン下るが、ビショ〜くになる。

至川棚ノ頭方面（一般コースでない）

シャクナゲの白く咲き香う景境の尾根はヤセ尾根はるか続きぬ

狭い尾根道

6:56 ヒル

6:40 急坂

ゆるい登り

朝土合から来た単独行に抜かれる。今回はユックリ歩こう！

車ユリのオレンジ色が美しい

ツツブキ

ニッコウキスゲ

クルマユリ

ニッコウキスゲの間を登る

（北側斜面）

中ゴー尾根分岐 1808 6:30

至二俣〜谷川〜水上へ

肩ノ小屋 1963.2 7/23 13:30

（小屋は男ヤモメ二人）

◇肩の小屋は、水も無くて困る。ビールとジュースで喉の乾きを止める。テントの人たちは汚い雪田のしずくすくってはコッヘに入れ、炊事に、お茶、お湯に使用している。全く気の毒だ。泊客も最低の小屋を覚悟すべし。悪てが……

朝 6:15 出発

谷川岳 1963.2 7/23 13:30

賑やかなママさん関西より中年女性パーテー小屋は満員 鰯の缶詰土間で寝る人もあり

トマノ耳 1963.2

オキノ耳 1960

偉容も時々見えるのみ

ガスがかかり大岩壁のガスがかかり大岩壁のオキノ耳

小屋へザックを預けてオキの耳の先まで行く

谷川の オキの耳より 見下せば

命奮いし 岩ぞきり立ち

暑き日に ガンゴー新道 頑張れば

汗で眼はしみ 腰にたまりぬ

マチガ沢 見ながら登る トマの耳

西は笹原 東は岩立つ

（マチガ沢が音をたてて流れている。岩稜を登るパーテーが沢を詰めている。マチガ沢の入口が見える）

3日目

急坂

雪田

ガンゲ岩

ガンゲ岩 12:55~13:00

13:03 笹の原

13:12

12:39 この付近大岩が続いている。

12:34~12:39 尾根の右を巻く

12:22~12:34

12:21 ピーク

12:19 ピーク

12:05 ヤセ尾根

12:02 ピーク

ニッコウキスゲ・赤いにまかい花？

シオガマ・キボシ・シラネ

11:03~11:41 岩の上昼食

10:58

10:54

10:50

急な岩道

10:42 鉄ハシゴ 22段

10:30~10:37 右は悪い巻道

10:26

10:19 カラ沢渡る

10:16 分岐

10:05~10:13 休憩

9:52 2本甘木

9:48 木ノ根

9:30~9:43 ぶどう食べる

9:09~9:15 カエデの下で休憩

展望台

展望台

9:00 沢渡る

倒木

道標

8:50 沢渡る

厳剛新道入口

厳剛新道トンネル

8:47

8:13 通過

7/23

8:24 ケイケイ鳥が鳴く

冷たい水を飲む

7/23(土) 8:30~8:38

晴 20°C

晴 朝20°C 微風

→朝は涼しいが暑くなりそうだ。

2日目 7/23 土合山ノ家 7:46出発

厳雪小屋跡 1500

厳剛新道 ガンゴー

◎道標には 3.2H とあり

マチガ沢

西黒尾根登山口

黒尾根

西

厳樹林の中の急坂むし暑い

厳剛展望台

新道

少しきつい石固めの道

（くさり五ヶ所あっても夏季は使わないで登れる）

谷川岳＝遭難の山、悲劇の山、墓標の山、そして登山禁止の山として、登山界のみならず、ひろく社会の注目をひきつつあるこの魔の山とは？……一の倉沢岩壁登攀によるものが殆んどで、一般コースについては、一般の山々と変りはないと思う。

初めて一の倉沢の出合に立って見れば、誰しも見わたす限りの岩壁群に圧倒される。胸がジワジワ熱くなり、心臓が高鳴る思い……右の切り立った細く尖った垂直の大岩峰、あれが先日テレビでやった有名な衝立岩だ。続いて烏帽子奥壁、滝沢スラブなどの全貌を見上げる。おおいかぶさるような……朝の太陽に無気味に反射する巨大な岩壁群を見れば見るほど胸に息詰る圧迫感を感ずる。

◇図書によれば、厳剛新道は昭和29年、沼田営林署の竹花厳、川中剛の両氏がきり開いたのでこの名がつけられたと記されている。マチガ沢の奥を見ながら高度を せり上げていくこの急登の灌木の中の道はきついが、最初は水場もあり健脚向きで良い。

N

0m 500 1000m

S 1/18000

（高さは縮尺でない）

奥村光信